

## 協定留学近況報告書

記 入 日	2018年 11月 26日
留 学 先 大 学	シェフィールド大学(The University of Sheffield)
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):経済学部, (現地言語での名称):Department of Economics</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2018年9月ー2019年6月
明 治 大 学 での 所 属	商学部商学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部三年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

イギリスの物価や生活を様々な情報をウェブで調べていました。また、現地の銀行口座を作らずに済むためキャッシュカードを作りました。準備不足と思ったことは何の授業を履修したいかを事前に考えていなかったことだと思います。出発する前にきちんと取りたい授業(単位交換のどこを考えている場合は明治大学のシラバスと比較しながら)を決めた方がいいと思います。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: TIER4(general student)	申請先: イギリスビザセンター
ビザ取得所要日数: 4日(優先サービス) (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 約5-6(+3万円優先サービス)万円
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポート</li> <li>・留学許可書(CAS)</li> </ul>	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
大学から留学許可書(CAS)が届いたら、イギリス申請センターというサイトに申請フォームを記入し(個人に関する問題)、そして、実際にパスポートと必要書類などを提出しに行く日をオンラインで予約できます。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
パスポートと書類(CAS)を渡して、ビザ用の証明写真を撮って終わりました。面接がなかったため15分で済みました。	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
<p>オンラインでの予約が必要で、一番早い時間帯(8時、8時半)を選ぶことをお勧めします。それ以降ビザセンターが混雑して予約時間通りにできず一時間待たされることもあるみたいです。</p> <p>※優先サービスを使わない場合は三週間前後かかります。個人的な都合で三週間待つことが難しかったので、普通なら優先サービスにする必要ないと思います。</p>	

## II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

### その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

・現金調達に関して: 私は出発する前に、日本で「Master Card」のチャッシュパスポートを作りました。親が月にカードへの振り込みができ、銀行口座の開設の必要も無くなるため、便利だと思います。イギリスはカード社会なので、ほとんどのお店でカードを使うことができます。カード以外にも現金をある程度持って行きました。

・携帯に関して: 出発する前に日本の携帯の契約を一時停止することをお勧めします。そうすれば日本に戻ったらすぐの携帯番号を使用することができます。私の携帯は元々海外で購入したため、そのまま持って行って、イギリスの sim カードに入れ変えただけでした。日本で携帯を購入した場合は通信会社に携帯は海外でも使えるかを確認した方がいいと思います。また、出発する前に、日本のアマゾンでイギリスで一ヶ月間使える SIM カードを購入して持って行きました。そうすると空港に着いたらすぐに携帯使えて安心だと思います。また、シェフィールド大学では寮に入るときに“Fresher package”(新入生へのパッケージ)をもらえるので、その中に(giffgaff という通信会社の)SIM カードが入っていて、周りに結構そのカードを使う人がいました。私の場合はネットで“voxi”という SIM カードを申請し、郵送してもらいました。(1-2 日かかります)そして、申請するときに入力したクレジットカードの番号から月ごとに引き落としています。(月に£10)

・荷物に関して: 私の場合は事前に荷物を留学先に郵送することはしませんでした。大きいスーツケースを一つと小さいスーツケース一つに収めました。残りは(手厚いコート、セーターなど)日本から送ってもらいました。

## III. 現地到着後のながれ

### 1. 到着時の様子

利用航空会社	ブリティッシュエアライン(British Airline)				
航空券手配方法	HIS ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	マンチェスター	現地到着時刻	午後5時頃		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	2-3時間				

### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

学校のウェブサイト可以申请できるピックアップのバス(Meet & Greet)があるので、バスで各国からの留学生と知り合えて良かったと思います。このバスを申請することをお勧めします。料金は£25でした(オンラインカード払い)。

到着してシェフィールド大学からの学生さんと留学生とゲームしたりして、夜の8-9時から空港から出発しました。

大学到着日	9月10日23時頃
-------	-----------

### 2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(当地の学生)			
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	学校のウェブサイト			

### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

学校からのスタッフさんもいたため、特にトラブルはありませんでした。

3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9/10 から 9/21
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容の様子？	毎日に朝から午後まで様々なイベントがあって、他の一年生や留学生と交流したり、英国文化の紹介、アフタヌーンティー、スピーチ、ハリーポッターの映画もやったりしました。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月24日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？
大学内に BRP を取りに行くことが必要でした。
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？
健康診断を無料で行いました。注射もありましたが、特にトラブルはありませんでした。
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？
キャッシュカードがあるため、銀行口座の開設はしませんでした。
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？
自分の携帯にイギリスの SIM カードを挿入しただけです。

#### V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前に(5月頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(9月頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
登録時に留学生として優先されることは	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
<p>当地の学生はレベル1からレベル3まで(一年生～三年生のように)分けられていますが、留学生は授業をレベル・学部関係なく自由に取ることができます。しかし、取りたい授業を学部のスタッフに確認する必要があるため、拒否されることもあります。例えば、私最初にレベル1とレベル3の授業を取りたかったが、結局この二つの授業内容の重複しているところがあるため同時に履修することができませんでした。また、レベル2、3の授業には“pre-requisite”というマークがついている授業があります。すなわちその授業を履修するため“pre-requisite”の条件を満たさないと履修できないということです。私の場合は“pre-requisite”が明治大学で似たような授業を履修したことがあれば条件を満たすことになります。</p>	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	
<p>出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？</p> <p>出発前にレベル1の授業しか取らなかったが、現地に着いてから他の学部の授業も取りたかったため授業変更をしました。他の学部の授業を取りたい場合はその学部のスタッフに確認のEメールを書いてもらわないとできないので、結構大変でした。でも新学期始まってから三週間の授業変更の期間があるので、自分が取りたい授業をきちんと考える時間があると思います。</p>	

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	Industrial Ornisation Lecture		International Trade Lecture	International Trade Workshop		Give it a go に参加 (日帰り旅)	課題取り組み
10:00							
11:00	Business Strategy Lecture						
12:00	課題取り組み		Business Strategy Tutorial (隔週授業)				
13:00							
14:00		課題取り組み					
15:00	Industrial Ornisation Workshop						
16:00							
17:00			Japanese Society (サークル活 動)				
18:00							
19:00							
20:00				Yoga lesson			
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

出発する前にヨーロッパの治安が悪いという印象があったので、結構心配しましたが、シェフィールドで生活してみたら、過ごしやすく安全な街だと思いました。シェフィールドはロンドンなどの都市と違って自然の多く、夜になると静かな街です。寮にもよりますが、私の寮の周りには森林に囲まれています。最初に学校から遠くて(徒歩 30-40 分)寮を変更することも考えていましたが、その環境に慣れてきて(毎日のようにリスが見えます)ルームメイトもいい人だったので、寮を変えませんでした。また、Student Union にはほぼ毎週に日帰り旅(Give it a Go)を行なっています。寮の近くまでにピックアップのバスがあって、その費用も自分で計画して行くより少し安めになっているので、参加することをお勧めします!(私はほぼ毎週参加しています。)その他、留学生向けの Global café、Global Conversation や Culture Compass などのイベントが毎週やっているので、他の留学生・現地の学生と交流できる機会があります。勉強の面に関しては、1 学年に合計 120 単位が上限で、一つの授業 20 単位だと考えれば 1 学期三つの授業しかありません。最初授業少なくて楽だと思ったら、リーディング・課題の量や授業内容の多さに驚きました。週末に旅行の予定があるなら平日に授業が終わったら図書館にこもることになります。大学の図書館は二十四時間開放していて、とてもいい学習環境が整っています。また、授業内容が英語で行うため、聞き取れないことやノート取れなかったこともあったが、学校のサイト「MOLE」(明治大学の Oh-Meiji のように)に授業の映像がアップロードしてあるので、自分の家で復習することができました。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学する前に語学力や友達できるか様々な不安が思い浮かぶと思いますが、とにかく自信を持って話すことが大切だと思います。シェフィールド大学ではアジアだけではなく、世界各地からの留学生が集まっています。私も人の前で話すのが苦手だが、世界各地の友達を作ることやヨーロッパ世界に回るとは今のうちにやるしかないと思ったら、勇気がつけられました。留学する前に不安なことしか考えていなかったのもあるかもしれないが、思ったより楽しいことがたくさんでした。勉強の面に大変なこともあるが、より充実した生活を送れたことにも繋がっているのではないかと思います。留学してから外国人と交流することによってより広い視野ができ、自分の中に見つめ直す機会になるとと思います。例えば、私はチェコやスイスなどからの留学生と友達になって、よく文化や言語の違いを交流したり、自分の国の料理を作って一緒に食べたりしました。留学をしなかったら一生にこのような友達ができないのではないかと思います。

留学は思えば誰でもできると思います(もちろん家族からのサポートも必要だが)。大変なこともあるが、収穫の方は絶対たくさんあるので、留学を考えているみんなはぜひ考えすぎず、挑戦してみてください。



↑ 寮の外観